



公益社団法人 京都保健会 SDGs 宣言書



公益社団法人京都保健会は、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。SDGsが掲げる目標達成に向け、2026年度までの期間下記のとおり宣言します。

取り組みテーマ	具体的取り組み	SDGs目標
人権と公正の視点で医療・介護活動を一体的にすすめます	人権と公正の視点で、急性期から回復期、在宅、介護まで、質の高い切れ目のない共同のいとなみとしての医療・介護を実践します。	  
医師をはじめ医療・介護従事者の確保と養成をすすめます	医師をはじめとした医療・介護従事者の確保と養成は法人最大の課題です。養成プログラムの整備をすすめ、各職員の成長を保障します。	 
法人を持続させる強固な経営基盤を確立します	法人を持続させるためには、強固な経営基盤の確立が不可欠です。全職員の経営の視点を貫き、必要利益を確保します。	  
人間と環境に優しい持続可能なまちづくりをすすめます	誰もが住み続けられる、人間と環境に優しい持続可能なまちづくりをすすめます。エコアクション21に基づき、低エネルギー社会の実現に貢献します。	     
人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対します	人類の生命と健康を破壊する戦争は、私たち医療・介護従事者とは決して相容れません。どんな理由であれ、殺し、殺される戦争には絶対に反対します。	  

人権と公正の視点で、医療・介護活動を一体的にすすめます

[具体的取り組み]

人権と公正の視点で、急性期から回復期、在宅、介護まで、質の高い切れ目のない共同のいとなみとしての医療・介護を実践します。

[主な取り組み]

- ・ 中央病院の急性期機能の維持、発展
- ・ 在宅支援病院、在宅拠点診療所の機能強化
- ・ 全診療所の継続、発展
- ・ 訪問看護・介護を5年間で1.5倍化
- ・ 介護分野の第三者評価受審促進
- ・ IT化推進で医療・介護連携の質向上
- ・ 無料低額診療事業の推進



医師をはじめ、医療・介護従事者の確保と養成をすすめます

[具体的取り組み]

医師をはじめとした医療・介護従事者の確保と養成は法人最大の課題です。養成プログラムの整備をすすめ、各職員の成長を保障します。

[主な取り組み]

- ・ 毎年、初期研修医 5 名、専攻医 5 名、キャリア医師複数を受入
- ・ 予定されている診療所所長交代の実現
- ・ 人事育成部機能の向上、強化
- ・ 介護職員の確保と育てるシステムの確立
- ・ 幹部職員の養成
- ・ ヘルスケア委員会、労働安全衛生委員会を通じての働きやすい職場づくりの推進
- ・ ジェンダー平等の視点での労働環境の整備

4 質の高い教育を
みんなに



5 ジェンダー平等を
実現しよう



法人を持続させる強固な 経営基盤を確立します

[具体的取り組み]

法人を持続させるためには、強固な経営基盤の確立が不可欠です。全職員の経営の視点を貫き、必要利益を確保します。

[主な取り組み]

- ・ 必要利益の絶対確保
- ・ 経営活動の基本に、全職員の経営の視点を貫く
- ・ 純資産を5年後に総資産の10%以上に引き上げ

3 すべての人に
健康と福祉を



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



人間と環境に優しい、持続可能なまちづくりをすすめます

[具体的取り組み]

誰もが住み続けられる、人間と環境に優しい持続可能なまちづくりをすすめます。

エコアクション21に基づき、低エネルギー社会の実現に貢献します。

[主な取り組み]

- 5年間で、3万人の友の会の建設
- 暮らしのアンケート、医療懇談会、何でも相談会、暮らしの保健室、こども食堂、食材支援PJなどのとりくみ
- 自治連合会など地域と協働した活動
- CO₂削減に積極的にとりくみ、LEDや省エネ機器、太陽光発電の導入、食料廃棄削減などで、法人全体5年間でCO₂の12%削減、2030年までに50%
- 2050年に実質0（2013年比）の実現。
- 法人BCPの策定

2 飢餓をゼロに



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



15 陸の豊かさも守ろう



人類の生命と健康を破壊する 一切の戦争政策に反対します

[具体的取り組み]

人類の生命と健康を破壊する戦争は、私たち医療・介護従事者とは決して相容れません。どんな理由であれ、殺し、殺される戦争には絶対に反対します。

[主な取り組み]

- ・ 署名活動など、法人内外での対話の推進
- ・ 改憲の動きに対し、反対の意思表示
- ・ 多様性を認める社会の実現に向けて意思表示

